

# 令和4年度 第2回吉川区地域協議会次第

日時：令和4年5月12日（木）午後6時30分  
場所：吉川コミュニティプラザ 大会議室

## 1 開 会

## 2 会長あいさつ

## 3 協議事項

(1) 令和4年度地域活動支援事業（プレゼンテーション等）について

(2) その他

## 4 総合事務所からの諸連絡について

## 5 その他

・勉強会の開催

5月19日（木） 18時30分から  
吉川コミュニティプラザ

・次回地域協議会の日程

5月19日（木） 19時30分から  
吉川コミュニティプラザ

## 6 閉 会

# 令和4年度 上越市(吉川区)地域活動支援事業提案書受付一覧

第2回吉川区地域協議会  
令和4年5月12日  
資料No. 1

## 事業番号1／事業名：『吉川区と上杉家の繋がり』大乘寺遺産保存・伝承・振興事業

受付日	団体等の名称	複数に提案している場合	事業費等(単位:千円)		事業内容の概要	現地視察実施の有無	追加資料の有無
			事業費	補助希望額			
4月1日	大乘寺町内会	-	484	479	大乘寺の地名の由来となった「大乘寺」の住職「大乘寺良海」は、上杉景勝時代に上杉謙信の葬儀で導師を務めた人物であり、大乘寺跡に建つ大師堂は、今も地域の人々が大切に守り続けている。上越市が全国に誇る戦国武将・上杉謙信ゆかりのこの地で、講演会や武禊式を実施し、このような歴史的遺産の価値を、区内外に発信するだけでなく、子どもたちにも興味をもってもらい、合わせて吉川区や町内への交流人口増加と地域の活性化に結びつける。	無	有
質問事項					質問に対する回答事項		
<p>①事業実施においては、法律を遵守し、権利の侵害や公序良俗違反がないようお願いする。</p> <p>②子どもたちとの関わりについて、来年度以降は「勉強会の実施」とあるが、今年度の実施予定はあるか。また、他に子どもたちが関わるものはあるか。</p> <p>③講演会の会場が吉川中学校体育館となっているが、中学生の参加を想定しているのか。中学生の参加を想定しているのであれば、中学校と協議はしたのか。</p>					<p>①法令を遵守し、権利侵害などないよう対応します。</p> <p>②子どもたちの勉強会については、今年度は実施する予定はありません。今年度は講演会や案内看板等設置を重要と考えており、それに関する資料等の配布は可能ではないかと考えています。来年度以降は、子どもたちの希望があれば、勉強会を実施する予定です。</p> <p>③中学生の参加については、チラシを配り、参加を促す予定ですが、基本的には、年齢制限なく、住民を対象としたものとなります。また、武禊式については、担当する「一義会」様から、中学生2～3人の出演が可能と言われており、これを募集させていただきたくてです。中学校との協議については、昨年度中に前校長に対し、頭出し程度の話はさせていただきましたが、今年度に入ってから、正式に話はしていません。本事業が採択された後、正式に話を予定しております。</p>		

## 事業番号2／事業名：上越市立吉川小学校20周年記念事業

受付日	団体等の名称	複数に提案している場合	事業費等(単位:千円)		事業内容の概要	現地視察実施の有無	追加資料の有無
			事業費	補助希望額			
4月6日	吉川小学校後援会	-	926	926	吉川区唯一の小学校である吉川小学校の創立20周年を皆で祝い、地域との結びつきを深め、更に吉川区の魅力を市内外にアピールできる記念行事として、スクールバスのラッピングを提案する。児童や地元デザイナーが地域の特色を生かしたデザインを作り、地域住民や保護者、教職員も一緒になり、児童とともにバスに絵柄を貼り付ける。出来上がったバスは今後十数年、吉川区内の児童たちの登下校に使われるだけでなく、区外の学校にも貸し出され、郊外授業にも使われ、吉川区の魅力を市内外にアピールできる機会を得る。	無	有
質問事項					質問に対する回答事項		
<p>①事業実施においては、法律を遵守し、権利の侵害や公序良俗違反がないようお願いする。</p> <p>②バスのラッピング以外の発想はないか。</p> <p>③20周年事業がなぜスクールバスのラッピングになったのか疑問に感じるころがある。決定過程の説明をお願いする。</p> <p>④20周年は以前から準備計画がなかったのか。</p> <p>⑤洗車、クリーニング等も考慮して、ラッピングの耐用年数は何年くらいか。</p> <p>⑥ラッピングのデザインは児童のアイデアから誰が最終決定するのか。</p> <p>⑦本年4月上旬にデザインコンセプト完成とスケジュールにあるが、もう完成しているのか。また、それはどのようなものか。</p> <p>⑧2台のバスは同じデザインになるのか。</p> <p>⑨学校・教育活動の中で実施するべき活動であり、地域活動支援事業の提案事業として相応しくない事業に思える。地域活動支援事業として提案する理由や意義・意図を明らかにしてほしい。本来であれば、市教育委員会や吉川小学校後援会、地域住民の寄付等を募り行う事業ではないかと思うがいかがか。</p>					<p>①デザイン等が法律に違反したり、他の物や人の権利を侵害したり、公序良俗に違反したりしないように、細心の注意を払い実施していきます。</p> <p>②20周年の節目として児童・保護者・教職員が協力して行った事業が目に見える形となり、また、児童や保護者、地域住民が通学・校外学習活動等で日々目にする事で作った時の思いが受け継がれる事業として、ラッピングバスが最適だと考えています。</p> <p>③20周年記念事業として、吉川小学校では、令和4年4月1日より、これまでバスのカラーリングから「ピンクバス」「イエローバス」として親しまれていたスクールバスが、新しくなることが分かっていました。吉川小学校の職員が以前勤めていた学校で、2例スクールバスのラッピングを行った事例がありました。スクールバスのラッピングは、児童・保護者・教職員が行う記念事業として、活動が形となって見え、また、スクールバスは日々児童や保護者、地域住民の方が目にする事となります。ラッピングされたスクールバスを見る度に、20周年記念事業のことが思い出され、吉川小学校への思いが受け継がれるものとして、ラッピングバスの授業が最適だと考えました。3月7日の第1回役員会で記念事業としてのラッピングバスを提案し、了承されたところです。</p> <p>④吉川小学校は、20年前に統合し吉川地区で1つの小学校となってから20年間、周年行事を行ってきませんでした。令和3年度に新しくなった吉川小学校の後援会組織からの「周年行事がこのまま行われなことが吉川小学校として良いこととは思われなので、20周年の節目に記念事業を行いたい」との意向を受け、2月に20周年記念事業の組織を立ち上げ、3月7日に第1回役員会を行いました。</p> <p>⑤基本的には、5年間は色あせないとのこと。使用しない時は車庫に入っているなど、使用時以外は日光に当たらない状態で停車されているのであれば、10年15年と色あせはない。ただし、常に直射日光が当たり、特に西日が当たる状態だと、5年よりも色あせ始めるのが早くなるし、洗車の際にシールの角がめくると、シールの劣化が早くなるとのこと。</p> <p>⑥ラッピングバスのデザインのコンセプトと原案は、後援会長が行います。コンセプトと原案に沿った形で児童がアイデアを出し合い、デザインを行います。児童が行ったデザインを記念行事部で検討し、最終的に後援会長が決定します。</p> <p>⑦デザインコンセプトは、すでに完成し、4月12日の第1回記念事業部会で提案され了承されています。(詳しくは別紙参照)デザインコンセプトは、吉川区総合事務所の紹介メッセージ「彩り豊かな吉川」を参考に「彩り豊かなまち 吉川」としました。 &lt;大型バス&gt; アジサイ(児童作成)、梅の花、ウグイスを中心に、イラスト化して構成を考えます。 &lt;中型バス&gt; 「ヨッシャーマン」のイラストを入れます(「まちづくり吉川」には使用許可を得ている)。生活科や総合的な学習の時間、児童の興味関心、発達段階等を考慮してデザインを決めます。</p> <p>⑧2台のデザインコンセプトは異なり、デザインも異なります。(詳しくは別紙参照)</p> <p>⑨提案書の「(2)事業の目的及び期待する効果」にも書かせていただいた通り、ラッピングされたバスが、通学に使用されたり、市の内外を走ったりすることで吉川区の魅力を広くアピールできると考えます。そのために、バスに表示する予定の文言を吉川小学校の教育活動をアピールするのではなく、「吉川区をアピールする」文言「彩り豊かなまち 吉川」とし、イラストも吉川区をイメージする「アジサイ」「梅の花」「ウグイス」などにする予定です。</p>		

# 令和4年度 上越市(吉川区)地域活動支援事業提案書受付一覧

第2回吉川区地域協議会  
令和4年5月12日  
資料No. 1

## 事業番号3／事業名:落語寄席事業

受付日	団体等の名称	複数に提案している場合	事業費等(単位:千円)		事業内容の概要	現地視察実施の有無	追加資料の有無
			事業費	補助希望額			
4月19日	夢をかなえる会	-	339	299	新型コロナの影響で経済活動のみならず、文化活動、地域活性化活動が制限を余儀なくされてきた中、高田城址の観桜会開催や越後くびき野100キロマラソンが計画されている。 吉川区内においても、沈滞した状況を笑いで少しでも明るい方向に向かえるよう、上越市出身で吉川区とも古くからつながる「三遊亭白鳥さん」を迎え、寄席を開催する。落語は単なる「お笑い」ではなく、日本固有の文化であり、芸術であることから、吉川区において、文化的で元気な地域づくりと賑わい創出に貢献できる。	無	無
質問事項					質問に対する回答事項		
<p>①事業実施においては、法律を遵守し、権利の侵害や公序良俗違反がないようお願いする。 ②コロナ禍での実施で、多くの観客を集める方法をどのように考えているか。 ③芸能人を呼び、それを見る・聞くだけで、地域の活性化に繋がると考えるのか。また、単発的な取組みで、継続的な地域おこしの取組みに思えないが、どのように考えるか。</p>					<p>①どのような法律が適用となるか詳しく承知しておりませんが、著作権等の問題は無いと考えています。常識と良識の範囲で実施していきます。コロナ対策のため来場者の氏名や連絡先の把握を行います。プライバシーの侵害とならないよう注意します。 ②夢をかなえる会はコミュニティプラザ多目的ホールの有効利用を目的の一つとしていますが、コロナ禍においては会場毎にコロナ対策のための人数制限があるため、今回は多目的集会場の大会議室を会場として人数制限の範囲で実施する予定です。 夢をかなえる会はコロナ禍にあっても三密を避ける最大限の配慮を行い幾度かのイベントを実施してきました。しかし、状況によっては、今年3月のイベントのように中止することに躊躇することなく配慮して参ります。 コロナ禍であっても様々な規制が解除されるとともに各地で様々なイベントが実施されています(高田城址公園観桜会、上越文化会館での催し、長岡花火等々)。それらにおいてクラスターのニュースをあまり聞くことはなく、基本的な対策を抜かりなく行うことが重要と承知しております。 ③落語は娯楽であるとともに芸術と認識しています。優れた話芸は人の心を豊かにするとともに地域住民の心を豊かにしてくれるものと思います。 ご指摘のとおり、単発では地域活性化の効果は希薄なものとなってしまいます。夢をかなえる会は年間4~5回の催しを行い15周年を迎えております。その甲斐あって、現在は広域連携の動きが生まれ、上越チエコ文化交流会が誕生しています。</p>		

## 事業番号4／事業名:国田地域における古文書に親しむ機会を醸成する事業

受付日	団体等の名称	複数に提案している場合	事業費等(単位:千円)		事業内容の概要	現地視察実施の有無	追加資料の有無
			事業費	補助希望額			
4月19日	国田の古文書に親しむ会	-	1230	800	国田集落における古文書の解説を機に、各戸所蔵文書や写真等の保存・活用の機運醸成と地域文化の発展に寄与する。 国田集落における八木家関連の古文書、油屋文書の解説と合わせ、新潟県立文書館への訪問調査や地域の長老への聞き取り調査を行い、国田集落の歴史に関する記録(成果品)の製本・印刷を行う。 成果品は、国田町内、上越市文化行政課(歴史博物館)、高田図書館、直江津図書館、高田図書館吉川分室、新潟県立文書館等に寄贈するほか、住民を対象とした完成・発表会を行い、地域の歴史や文化の保存・活用の機運醸成の機会とする。	委員個人で対応	有
質問事項					質問に対する回答事項		
<p>①事業実施においては、法律を遵守し、権利の侵害や公序良俗違反がないようお願いする。 ②個人情報、著作権、差別、公序良俗等の遵守、判断は誰がするのか。 ③地域が限定的だが、区に及ぼす効果をどのように考えているか。 ④個人の趣味の域を出ない印象を受けてしまう。当事業を考えるにあたり、果たして区住民全体に与える発展性ある活性化に貢献するものなのかどうか疑問に思う。 ⑤支出の中で、ガソリン代や日当が漠然としている。詳細な計画はあるか。 ⑥印刷業者の見積金額と支出の部で、金額に差があるようだが、理由は何か。 ⑦印刷経費が大きいと思う。成果品の配布先と、印刷部数の縮小は可能か聞きたい。 ⑧事業の提案・推進について、地域の皆さんの意向は確認しているか。</p>					<p>①事前に、市立歴史博物館(古文書の解説指導済み)・市教育委員会(教科書センターで歴代教科書の閲覧許可済みの状態)・上越市同和対策室(「侍能工商」について一般的な問題点について質問済み)を訪問して、指導・助言を得ていますし、校正時には原稿を見ていただき、指導を仰ぎます。 柿崎区での「用水を考える会」では校正から印刷までの時間が迫られているときをお願いした経過もあり、今回は余裕をもって対処致します。 ②八木家の天和の検地帳は県立文書館で公開されており問題はないと考えていますが、コピーを入手してから、比較・考究したいと考えています。 国田では耕地の大部分は八木家が所有(川田集落では上小野の三上家)であったと伝聞されている部分もありますが、この点について数字で明らかにできるかもしれません。特に八木家の検地帳については全文ではなく、集計欄(各部での小計・合計)を比較することによって、油屋文書との違いを検証したいと考えています。 天明の新田検地帳については、天和の検地帳と同様に個人名が記載されていますが、特に問題があるとは判断していませんが、市立文書館並びに本庁同和対策室を随時訪問し指導を受けたいと考えています。 ③吉川町史には「下町等の検地帳」について詳細に記載されており、国田についても詳細に記録・文章化することは意義あることと考えています。 特に私の住む柿崎区川田においては、明治・大正・昭和の文書・写真がほとんど残っていないようですが、江戸時代の大量の古文書が代々区長(町内会長)に引き継がれており、「川田村検地帳」が三冊保存されていることを、小林は町内会長の時に確認しています。 明治・大正・昭和(40年以前)の記録はほとんど保全されていないようなので、文書・写真・物(用具類)を大切にす機運を醸成することは、吉川区内においても非常に大切であり、意義あることと考えています。 ④確かに「個人の趣味(興味関心)の域から出発」しています。 油屋の土蔵の取り壊しの際に、姉の「古文書が土蔵の2階の奥にあった」というかすかな記憶から、油屋文書の内容を知り、文書を譲り受けました。 油屋文書に興味・関心を持ち、数年間にわたって指導を受けながら解説できた文書は、国田ばかりではなく、吉川区にとっても、貴重な歴史的作業・成果にもなりうることであり、文章化(コピーを含む)して、製本・配布できればより効果は大きいと考えています。 ⑤詳細な計画は立てていませんが、県立図書館・県立文書館、良寛記念館、柏崎図書館、直江津図書館、高田図書館、三和図書館、糸魚川図書館は訪問して、書籍類をぜひ閲覧したい。柿崎区内・吉川区内の行動については旅費・日当・ガソリン代は支給しないこととしています。 ⑥、⑦、⑧ 印刷部数を半分にしても、経費はほとんど変わらないことを、印刷会社には口頭で確認しています。前回の経験から100冊でほぼ十分かなと考えています。 (前回は50部印刷したが、手元に訂正用の一冊があるだけで、最近でもぜひ譲って欲しいといわれたが、お断りせざるを得ませんでした。再販は金銭的に不可能) 地域の意向については、町内会長や農家組合長にお話しさせていただいており、地域住民の何人かは趣旨に賛同会のほうにも入会していただいています。</p>		

# 令和4年度 上越市(吉川区)地域活動支援事業提案書受付一覧

第2回吉川区地域協議会  
令和4年5月12日  
資料No. 1

## 事業番号4/事業名:国田地域における古文書に親しむ機会を醸成する事業

質問事項	質問に対する回答事項
<p>○追加事項1 市の事業に採択されない場合には、コンビニでのコピーを会員分製本し、会員にのみ配布することと致します。</p> <p>○追加事項2 頸北林業研究会の国田の小字岩野地内の「モウソウダケ征伐」の作業中に、住宅跡地らしい区画に気づき、休憩中の話題にしたときに、地元の方から、「松藤元氏の旧宅跡」とお聞きしました。更に国田の小字「原の共同墓地」墓地(油屋の墓地予定地があり、私は高校生まで共同墓地の草刈に参加していた)を歩いたときに「松藤氏墓」が残されていることに気づいていました。地元の寺の住職から、「松藤元氏の葬儀(関東)に住職として出席したこと、松藤元氏は「東大医学部卒の医学博士で、公害などの研究の先駆者である」と聞きましたので、種々検索しました。松藤元氏は明治43年生まれで、岩波新書「文明と病氣 上下 H.E.シゲリスト著」を翻訳しており、昭和時代の小林昭三にとっては、岩波新書は若者のバイブル的な存在であったことから、同新書(古書)等を購入できたので、ページに余裕があれば、掲載できればとも考えています。H.E.シゲリスト氏の在籍していたジョンズ・ホプキング大学は「ジョンズ・ホプキング大学によれば、現在世界のコロナ患者数は〇〇千万人」というマスコミ報道に出てくる著名大学でもあります。松藤家は昭和30年代まで居住されており、自分の同級生からは、「そんなことも覚えていないのか」と、逆に不思議がられたが、全く記憶はありませんでした。近所の方や姉は松藤家のことは記憶していました。以上のとおりです。</p>	

## 事業番号5/事業名:長峰城址保存活用事業

受付日	団体等の名称	複数に提案している場合	事業費等(単位:千円)		事業内容の概要	現地視察実施の有無	追加資料の有無
			事業費	補助希望額			
4月19日	越後長峰城址保存会	-	1083	1,000	<p>○長峰城見学会の開催 ガイド:本保存会会員 アシスト:吉川中学校生徒、会場:長峰城現地</p> <p>○広報・啓発事業 (1)遺構説明板の設置3台と誘導看板1台、案内看板1台、入口立札2台 (2)俯瞰図、普及パネル、地域の宝シールなどの作成</p> <p>○安全コースづくり・魅力向上事業 (1)安全・分かりやすい見学コースづくり ・船着き場周辺の下草・小木倒伐整備一式(業者整備)等 (2)魅力向上事業 雪割草、彼岸花、山百合、桔梗等の植栽</p>	無	有

質問事項	質問に対する回答事項
<p>①事業実施においては、法律を遵守し、権利の侵害や公序良俗違反がないようお願いする。</p> <p>②地域活動支援事業が終了する次年度以後の活動予定を具体的に説明願いたい。</p> <p>③次年度以後、独自財源で活動を継続していくのか。</p> <p>④広報啓発事業で説明看板が設置されるが、どのような看板をどこに設置するのか提示してほしい。図面や地図による説明をお願いしたい。</p> <p>⑤じっくり安全に見学できるコースづくりに努めるとあるが、具体的にどのようなことをするのか説明願いたい。</p> <p>⑥ゆったりの郷と連携した活動継続との事である。前年度、長峰城址を見学し、ゆったりの郷の温泉で昼食をいただくコースは良かった。春・夏・秋で複数回の実施を希望する。(要望)</p> <p>⑦長峰城址を市の文化財に認定してもらおう事を考えてはどうか。(要望)</p>	<p>①同感です。文化財保護法を順守するとともに、土地所有者のご了解を得ながら進めてまいります。</p> <p>②、③ 平成25年度からの10年間のうち、今年の満額の補助金を含めて9年間で総額約700万円の補助金になります。これは極めて大きな金額で、皆さま方のご理解とご支援の賜物と、感謝をいたします。 今年度はこの10年間のまとめの事業とするとともに、それが次年度からの新しい取り組み方の準備になるとしてとらえています。 次年以降の活動については、①まず保存会で草刈り等により現在の状態を維持管理すること、②見学会は年1回必ず実施すること、雪割草イベントも計画すること、そして、できれば市内外の団体の方々からおいでいただくために、フェイスブック等により広くお知らせすること、③ゆったりの郷等との連携事業を継続すること、④大胡城(牧野氏まつり)と長岡城関係団体(柏友会)との交流も継続すること、⑤吉川区の生涯学習フェスティバルや上越市の「地域の宝」展示会等に積極的に参加し長峰城の情報を発信したいと考えています。また、上越市等の他の補助事業等の有無や活用なども検討してまいりたいと思います。 なお、保存会の独自財源としては、現在のところ保存会費500円×113戸≒56,000円ほどで、繰越金を含めても約10万円と、かなり厳しい状況です。</p> <p>④案内看板として、遺構説明板3台、県道からの誘導看板、東土壘登り口の看板取り換え、見学コース入口立札2台です。設置予定場所及び内容は別紙のとおりです。</p> <p>⑤提案書(2)事業の目的及び期待する効果の4番目に、「じっくりと安全に見学できるコースづくり」と書きました。いずれも見学コースに関連することで、「じっくりと」見学していただくために、遺構やつくりについて考えていただく材料を提供する、例えば遺構説明板の設置が該当しますし、「安全に」は草刈り等を適宜行って見学コースの安全性維持、管理に努めるということです。 なお、雪割草をはじめ季節の花を植栽することにより、季節に応じて景観を楽しんでいただくことも考えております。</p> <p>⑥具体的な事業についてのご指摘、ありがとうございます。今年度第1回目は5月29日(日)に予定しました。複数回を実施できるように協力し合ってまいりたいと思います。また、ゆったりの郷様からは昨年度作成した「長峰城御城印」をこれまで約200枚販売、普及していただき、感謝をしているところです。</p> <p>⑦積極的なご提案ありがとうございました。実は、保存会設立当初から上越市文化財の指定については活動目標の一つでした。数年前にも文化行政課に出向いて文化財指定のお願いをしたことがあります。戦国時代の山城は上越市にはたくさんありますが、江戸時代の近世城は福島城と高田城、そして長峰城の3か所です。長峰城はわずか2年足らずで築城が中止されましたが、高田城とは立地もつくりもことになっており、近世城としての価値はそれなりに大きいと思います。今後も文化行政課を通じて上越市文化財指定をお願いしてまいりたいと思いますので、ご支援をお願いします。地域協議会の皆様からも、例えば意見書としてあげていただくとかしてご提案等をしていただければと思います。</p>

# 令和4年度 上越市(吉川区)地域活動支援事業提案書受付一覧

第2回吉川区地域協議会  
令和4年5月12日  
資料No. 1

## 事業番号6／事業名：尾神岳パラグライダーランディング整備事業

受付日	団体等の名称	複数に提案している場合	事業費等(単位:千円)		事業内容の概要	現地視察実施の有無	追加資料の有無
			事業費	補助希望額			
4月19日	尾神岳スカイスポーツエリア運営委員会	-	1100	1,000	スカイスポーツの基地として全国でも有名な尾神岳スカイスポーツエリアを整備・改修し安全面の強化を図るとともに、更に多くの選手や一般フライヤーの集客や大きな大会開催を計画できるようにする。 また、パラグライダー大会に併せて、好評で定着しつつある尾神そば早食いイベントを開催し、賑わい創出と地域活性化に貢献する。	無	有
質問事項					質問に対する回答事項		
①事業実施においては、法律を遵守し、権利の侵害や公序良俗違反がないようお願いする。 ②ランディング地点の整備等で、各種団体や住民との協働面の記述がないように見えるが、業者に係る費用を抑えるために、できる範囲での住民との協働を図ることはできないか。 ③整備予定のランディングの面積や位置の詳細を教えてください。					①当然のことであり、十分配慮して事業を実施します。 ②水源地域(尾神、坪野)では過疎化や高齢化が急速に進み、草刈り等の作業ができる若い人は数人しかいないのが現状です。 事業費の関係もあり提案書には記載していませんが、当委員会では整備した土地への芝植えや、隣接するブナ林の下草刈り、駐車場の整備等をパラグライダー愛好者や尾神岳ファンクラブ、地元有志の皆さんと協力して随時進め、観客の皆さんの観覧や遊びの場等としても活用いただけるようにと検討しています。 パラグライダーのテイクオフ(離陸場)の状況をご覧いただければご理解いただけるものと思います。 ③現在のランディング面積(平らな面)は、約2,500㎡であり、平らな面を約5,000㎡に整地する予定です。 ※別紙図面(略図)のとおり		

## 事業番号7／事業名：天岩戸尾神伝説PR事業

受付日	団体等の名称	複数に提案している場合	事業費等(単位:千円)		事業内容の概要	現地視察実施の有無	追加資料の有無
			事業費	補助希望額			
4月19日	水源地域振興対策協議会	-	805	800	昨年、紙芝居や御朱印の作成、岩戸伝説の地の周辺整備を行うことにより「悠久の歴史かおる尾神岳伝説(天岩戸尾神岳伝説)」を市内外に発信することができ、新たな観光拠点の創出と来訪者の増加を図ることができた。 今年は散策道の整備、のぼり旗やPRチラシの作成、現地説明会・講演会を開催などにより、更なるPRと賑わい創出を目指す。	委員個人で対応	有
質問事項					質問に対する回答事項		
①事業実施においては、法律を遵守し、権利の侵害や公序良俗違反がないようお願いする。 ②整備する散策道の場所はどこか。詳細が分かるよう、地図や図面、現地写真等を提示してほしい。 ③散策道等の整備とあるが、詳細が分かるよう、図面等で示してほしい。 ④次年度以後、独自財源で活動を継続していくのか。 ⑤住民は何をするのか(手伝いをするのか)。のぼり旗の設置だけなのか。 ⑥昨年度の本事業で、年間を通じ、訪問者はどれくらいであったか。 ⑦見学場所の近くには駐車スペースがないが、駐車場の整備についてどう考えているか。 ⑧事業の実施スケジュールに、現地説明会、講演会等の開催とある。PRチラシ等作成し多くの住民の参加を期待する。(要望) ⑨のぼり旗の作成について、提案書のルール上、10万円以下の業務であるので他社の見積もり提出は必要ないが、見積もり業者以外の業者は検討しなかったか。製作費の抑制やより良いデザインという観点では必要かと思うが、いかがか。					①当然のことであり、十分配慮して事業を実施します。 ②、③ 別添見取り図並びに写真のとおり。 ④独自財源は少ないものの、このような活動は継続していくことに意義があるものと考えています。 ⑤地元住民は過疎化や高齢化等により著しく減少しています。こうした中でも、のぼり旗の設置だけにとどまることなく地域文化遺産として維持管理等を行いながら伝説の火を消さないよう努めて参ります。 ⑥昨年度は、事業完了後11月14日に記念式典を行ってからPRを開始しました。各報道等にも取り上げられた効果もあり、コロナ禍であったにもかかわらず、また降雪も早かったのですが、問い合わせや寄付金、御朱印の販売等から、170名と推計しています。 ⑦ポツリ、ポツリとお見えになれる皆さんには、市道の広い場所(2箇所)をご利用いただけると考えています。 多くの皆さんをお迎えする場合(通常は事前連絡あり)などは、遊ランドの駐車場をご利用いただき、散策を楽しんでいただきたいと思いますと考えています。 ⑧昨年度の事業に加えて実施するものであり、現地説明会や講演会等についても昨年度以上の参加者を迎えられるように進めていきたいと考えています。 ⑨見積もり業者の選定を行う前に、ネット販売(商品)等を十分検討した上で製作費の抑制に努めています。 また、デザインについてはコンペ方式もありますが、このような規模の物では、むしろ価格が高くなってしまい、あまり相応しくないと考えています。 当委員会では、見積もり業者の提案を参考に決定していくことで特に問題はないものと考えています。		

## 事業番号8／事業名：「地域のお宝自慢」探検隊事業パート2 地域のお宝マップづくり事業

受付日	団体等の名称	複数に提案している場合	事業費等(単位:千円)		事業内容の概要	現地視察実施の有無	追加資料の有無
			事業費	補助希望額			
4月20日	吉川区青少年育成会議	-	564	494	地域の伝統行事・料理、文化財、特産品、景観等のさまざまな地域の魅力について、子供たちが地域の人からの聴き取りや現地調査・文献等を通して、地域の魅力を再発見し「お宝自慢カード」にまとめ、グループごとに「地域のお宝自慢集」を作成(成果品)する。 成果品は、関係地域の代表者や青少年育成会議の皆さんからの点検後、校内、地域内外への発信用とし、冊子やマップを作成し発表会を行う。	無	無
質問事項					質問に対する回答事項		
①事業実施においては、法律を遵守し、権利の侵害や公序良俗違反がないようお願いする。					①法令を遵守し、権利侵害などないよう対応します。		

# 令和4年度 上越市(吉川区)地域活動支援事業提案書受付一覧

第2回吉川区地域協議会  
令和4年5月12日  
資料No. 1

## 事業番号9／事業名：吉川区昭和と平成の記憶記録事業

受付日	団体等の名称	複数に提案している場合	事業費等(単位:千円)		事業内容の概要	現地視察実施の有無	追加資料の有無
			事業費	補助希望額			
4月21日	里山文化研究会	-	378	350	地域のオーラルヒストリーを記録(DVD化)することで、吉川区という地域から見た昭和の時代の社会の変化を描く。地域の歴史証言を記録し、地域の将来文化の礎を築く事業に取り組むものであり、「地域文化を守り育て、賑わいを創出する事業」に該当するものとする。	無	無
質問事項					質問に対する回答事項		
①事業実施においては、法律を遵守し、権利の侵害や公序良俗違反がないようお願いする。 ②個人情報、著作権、差別、公序良俗等の遵守、判断は誰がするのか。 ③過去に吉川町史や原之町で区の歴史を記録しているが、それとの違いは何か。 ④次年度以後、独自財源で活動を継続していくのか。					①法律遵守、個人のプライバシーへの配慮、公序良俗逸脱なきよう慎重に判断して事業を進めます。 ②個人情報の開示は同意を得て収録します。著作権は収録者が所有します。差別、公序良俗の判断は収録者が慎重に判断して事業を進めます。 ③吉川町史は主として古文書・行政文書を基に作られ、その過程で個人の証言の聞き取りを行ったかもしれないが、証言そのまま載っているわけではありません。この事業の最大の目的は、吉川区の一時代の歴史的証言をそのまま研究資料として残すためであり、町史の目的とは異なります。原之町での歴史記録は承知しておりません。 ④何等かの方法(財源)で収録を継続していきます。特に吉川高校スキー部の活動の証言を収録していく計画です。		

## 事業番号10／事業名：よしかわ道の駅活性化促進事業

受付日	団体等の名称	複数に提案している場合	事業費等(単位:千円)		事業内容の概要	現地視察実施の有無	追加資料の有無
			事業費	補助希望額			
4月21日	吉川観光協会	-	592	591	道の駅内の杜氏の郷、ゆつたりの郷、四季菜の郷、くつろぎ長屋、トイレなど各施設の紹介や配置に加え、年間行事やイベントを掲載した「よしかわ道の駅案内図」を製作。区内住民や来訪者に配布する。また、案内図完成と同時に芸能イベントを開催。よしかわ道の駅の活性化を一層促進し、更なる地域発展を目指す。	無	無
質問事項					質問に対する回答事項		
①事業実施においては、法律を遵守し、権利の侵害や公序良俗違反がないようお願いする。 ②道の駅周辺が一体となる事業にしてほしい。ゆつたりの郷や杜氏の郷の協賛は考えられないか。 ③現在設置されている案内看板は、更新する予定はあるか。 ④年度計画や、もともとあった事業計画に搭載されていた事業なのか。(4/28追加)					①当然のことであり、十分配慮して事業を実施します。 ②各施設の配置が一体性に欠けているため、それぞれの事業にはバラバラ感があるかもしれません。当協会としては、常に一体性に配慮しつつ可能な限り協力していただきながら事業等を行ってきています。今後も各施設間の連携を図りながら進めていきます。また、各施設は当協会の会員であり、今のところ特別な協賛金をお願いしていませんが、必要に応じて検討していきます。 ③今ある案内看板には、それぞれ設置者があり、当協会の看板ではないため、更新の予定は把握しておりません。今後、その必要性があれば、設置者に対して要請等を行っていきます。 ④当協会の予算規模では、こうした事業の実施は困難です。従って、年度計画等には搭載しておりません。上越市からも「頸北唯一の道の駅」の活性化を推進してほしいという要望もあり、補助事業等の活用を積極的に検討し、本事業を提案しているところです。		

配分額 (単位:千円)	5,600	事業費	7,501	差し引き	-
		補助希望額	6,739		-1,139



第2回吉川区地域協議会  
令和4年5月12日  
資料No.2

令和4年5月2日

上越市長 中川 幹太 様

吉川区地域協議会  
会長 山岸 晃一

### 株式会社 よしかわ杜氏の郷民営化に関する意見書

上越市地域自治区の設置に関する条例第7条第1項に基づき、「株式会社 よしかわ杜氏の郷民営化」について、自主的に審議した結果、下記のとおり提出します。

#### 記

日頃より地域文化の伝承、農村振興、地域のにぎわい創出等、多大なるご配慮を賜り、厚く御礼を申し上げます。

旧吉川町は、頸城杜氏を数多く輩出し、県立吉川高校には醸造科を設置し、多くの農家で酒米品種を作付け、杜氏や酒造りに関わる人が加盟する酒造研究会も設立されるなど、酒造に深く関わり、酒造の文化と歴史の伝承・地域農業の発展・農業所得の向上を目的に第三セクター株式会社 よしかわ杜氏の郷を設立しました。その存在は、地域にとって大変重要であり、今後も酒造りの匠の地として在り続けていく必要があります。

最大株主である上越市におかれましては、今般の経営状況の悪化により、民営化を選択し、譲渡先を公募すると伺っています。譲渡先の選定に当たりましては、吉川区自慢の酒米や尾神岳の伏流水を使用し、吉川杜氏の匠の技にこだわり、地域のつながりや設立の歴史を守っていただくなど社会的貢献が見込める企業を吉川区住民は熱く希望しています。利益最優先の企業に譲渡されることはあってはならないものと考えております。

また、株式会社 よしかわ杜氏の郷を中心とする道の駅よしかわ杜氏の郷は、吉川区のインフォメーション基地であり、その活性化は地域の元気の源であり、吉川区全体の活性化もここから始まるととらえております。

上越市におかれましては、株式会社 よしかわ杜氏の郷を設立した吉川区住民の想いを尊重し、ご配慮をいただきますよう心から望みます。